

知って
いました? **安全で快適な
暮らしを支える**

まちの 設計図

私たちが暮らすまちは、ただ何となく開発しているのではなく、都市の発展を目指した多様できめ細かい計画が組み込まれていることをご存知ですか? 今号は、さいたま市の都市計画について、わかりやすくお伝えします。

**私の1日の生活から、
身近な都市計画を
見ていきましょう!**

これから プロフィール

30歳 会社員
さいたま生まれ。小中高大学とも地元
の学校に通学。現在は、自宅から市内
の会社に勤務。休日は、映画やショッピ
ング。公園や美術館でゆったりと過ごす
時間も大切にしています。

**健全で秩序あるまちを目指し
計画を立て、その実現を図ります**

皆さんは、「都市計画」と聞くと、「何だかよくわからない...」「道路のこと?」など、漠然としていてイメージするのが難しいかもしれません。でも実は、私たちの生活に身近な道路や公園の整備をはじめ、土地の利用方法や市街地開発の進め方など、安全で快適な環境をつくり、守るためににはどのようにしていくかを描く、まちの設計図のようなものなのです。つまり、「都市計画」とは、健全で秩序あるまちを目指し、計画を立て、その実現を図ること。ここでは、キャラクター「korekaraさん」の生活を通して、さいたま市が取り組む「都市計画」をご紹介します。

駅を拠点とした 都市づくり

さいたま市では、まちづくりの基本的な方針「都市計画マスタープラン（詳細はP4下段で解説）」を定めています。その中で示す将来の都市構造では、鉄道駅の周辺を拠点と位置付け、周辺地区に商業・業務施設や住居など都市の機能が集まる、便利な空間となるまちづくりを進めています。

駅がまちの拠点となるんですね。

公園

公園や緑地は、緑のオープンスペースとして、また市民の憩いやレクリエーションの場としての機能を果たすとともに、災害時には一時避難場所になるなど重要な役割があります。

平成25年3月現在、市内241か所、面積にすると約625haの公園や緑地が都市計画決定されています。

何気なく過ごしている公園にも、いろいろな役割があるんですね!

道路

道路は、私たちの日常生活や経済活動を支える重要な役割があります。さいたま市では、社会情勢の変化に対応し、低炭素型のまちづくりを実現するために、都市計画道路の見直しを始めています。平成25年3月現在、決定している都市計画道路は163路線で総延長約389km。このうち、廃止候補となっている路線は、23路線の約42kmです。

昔に決めた計画を見直して、廃止する路線もあるんですね。

住環境

“誰もが住み続けたい”と思えるような住環境や景観を守るため、都市計画では、土地の利用方法や建築物の建て方などきめ細かいルールを定めています。

さいたま市は、建築物の高さの上限を定める「高度地区」を決定しました。住居を中心とした市街地約7800haを「高度地区」に指定し、15mと20mの2種類の高さ制限を設けるといいます。これは、住環境を保全するとともに高層マンション建築を巡る紛争を未然に防ぐ効果もあります。

決定内容は、市のホームページで公開。今年8月から施行します。

建物の高さを決めて、住環境を守っているんですね。

次ページでは、「都市計画」が決まるまでの流れをご紹介します。